

貯蓄をする理由・投資をする理由 (資産形成コラム)

改めて考えてみると、人は何故「貯蓄」をするのでしょうか？ はたまた人は何故「投資」をするのでしょうか？ありきたりな答えをすると、将来何があるか不安だからある程度は貯蓄がないと・・・とか、貯蓄していてもお金は殖えないから投資しないといけない・・・とか、もう少し具体的に言うかテレビや SNS 等言われているような答えをすると、収入の5～10%くらいは貯蓄をしておく必要があるとか、物価上昇に負けないためには貯蓄ではなく投資しないといけないとか、まあそれなりの理由のような答えはあるかと思います。それはそうと、改めてあなたは何故貯蓄や投資をしていますか？このような根本的と言うか、単純なと言うか、所謂それはそれだからと言った、ねばならないと言ったような実は分かっているようで今まで自分の頭ではあまり考えずに、世の中の常識とまでは言わなくても、当たり前として認識してしまっていることこそ、一度きちんと考えて自分なりに定義して、「私は〇〇△△□□だから貯蓄と投資をしています。」と言った思考・行動の方が、実は利益は増し精神的安定に繋がると私は実感しています。よくビジネスの世界でも『言葉を正しく理解する

と、利益が増大する』と言われます。例えば、新年度が始まり事業計画や売上目標のようなグラフを示された時に必ず目にする FY24 のような FY だったり、リスクマネジメントに関する用語の ERM だったり、会議でよく使うアジェンダとレジュメの違いだったり、金融業界においてはリスクであったり騰落率であったりボラティリティであったりポートフォリオ（理論）であったりプロスペクト理論だったり、さまざま用語がさまざまな業界で使われていると思います。そのような言葉を正しく理解することで、グラフの見方や、どのようなリスクについての話題なのかとか、会議資料の準備をスムーズに行えたりとか、金融商品を理解し勧める際の手助けになったりと、明らかに利益の増大に貢献するとご理解いただけると思います。

と言うことで、もしも今まで「貯蓄する理由」や「投資をする理由」を自分なりに深く考えたことがなかったと言う方は、この機会に改めて自分なりの答えを考えてみても良いのではないのでしょうか。きっと利益の増大に繋がると思います。

ちなみに私が考える貯蓄する・投資する理由、それは『貯蓄は将来の

支出・消費を支えるため』そして『投資は時間価値を有効に使い、より将来の支出・消費を支える（楽にする）ため』。以上が、私が考える貯蓄をする理由と投資をする理由です。私が考えた答えですのでじっくりくる方もいれば、「ちょっと何言ってるか分からない？」とサンドウィッチマンの富澤のように思われた方もいるかもしれません。それはそうと、私なりの答えの中で2点解説を加えたいと思います。

1点目は『時間価値』について、時間価値とはそのままの意味で時間による価値です。以前のコラム「Time is money?」（ホームページ『ソニー生命 山田新』で検索、過去のコラム掲載中）でもお伝えしたように、時間には実はとても価値があります。若い人であればあるほど、多くの場合多くの時間を持っていて、それがそのまま多くの価値になります。時間を有効に使うことで、投資に対するリスクを軽減させ、将来における資産価値を高める効果が期待出来ます。そういう意味で、年を重ねると投資よりも貯蓄あるいはそれに似通った債券（国債・外債・公社債）に資産割合をシフトしていくことは自然な流れになります。残り少ないであろう時間の中で、自身が想定する一定の期間が無いと判断すれば、それは時間価値を有効利用しない貯蓄と同じ形態になるからです。とは言え、現代は多くの世代で長生きになってきているので、60代以降の方も平均寿命を考えて

も大方 20 年超、健康な方であればそこからまた更に 10 年 20 年は過ごされるので、その間の将来への支出・消費を考えると時間価値を 10 年ないし 20 年は有効に使い投資を行うことが出来ると思います。

2 点目は『形あるものは劣化する』について、これも文字通り形あるものの、例えば家や車、食器などの日用品、今この資料を作成しているパソコンなどの電化製品、時間と共に劣化していきます。お金も一緒です。現金で置いておくと、紙幣やコインが物理的に劣化していく姿は見て取れますが、それと同じように実はその価値も劣化してしまいます。所謂インフレーション、インフレです。イメージしていただきやすいように参考資料：物価上昇シミュレーションを同封いたします。そういう意味で、近い将来の支出・消費を支えるためには貯蓄は有効ですが、中長期的な支出・消費を支えるためには貯蓄は向いていません。お会いした方にはお伝えしていますが、近い将来の支出・消費の例としては家電製品の買い替え、車の買い替え、旅行などの 5 年以内の支出、一方中長期的な支出・消費の例としては子どもの教育費、住宅ローンの繰り上げ返済やリフォーム、セカンドライフを楽しむための資金等々、まだまだあるかと思います。ちなみに生活費や家賃・住宅ローンなどの月々の支出については、月々の収入で対処する項目になるので、一般的には貯蓄で対応しない方が良いと私は思います。

す。どちらにしろ、生きていれば必ず支出は発生するので、その支出をどのように支え続けるのかを考えた場合に、貯蓄や投資を使い分ける必要があると思います。その時に、誰のために何のためにやっているのか、自分なりの答えを持っていると、世の中の雑音に惑わされず利益を増大する一助となると思います。

そして最後に大事なことを 1 点お伝えいたします。このコラムのはじめの方で貯蓄する理由の一般的な例として記した、「将来のなんとなくの不安に備えて」について、これは明らかに貯蓄で解決する問題ではなく、保険で備えることで効率よく解決することが出来ます。自動車保険や火災保険をイメージされると分かりやすいと思います。自動車事故を起こしてしまった時や自宅を火災等で失ってしまった時に、貯蓄では解決が難しい金額になる場合があると容易に想像出来ると思います。そんな時に保険であれば、月々の適当な掛け金でそれをそのままきちんと金銭的に解決出来ます。

という事で、ニュースなどでも話題になっている、著名人を使った偽広告による投資詐欺にはくれぐれもお気をつけいただき、正しい貯蓄・正しい投資で今はもちろん、近い将来やもう少し先の将来や結構先の将来まで、

皆さんが安定した支出・消費を行えるよう、私で良ければご相談に乗らせていただきますので、令和6年度もよろしくお願いいたします。

2024・4

SL2705-3220-2405

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9 階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟